

環境影響評価集計表（平成24年度）

環境影響に関する授業一覧

No.	ユニット名	授業題目	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要(60字程度)
1	経済学部	自然活動論ゼミナール	1～4	全学対象	古屋顯一	「自然と人間の共存」をテーマに、自然の中での人間の生活や遊びについて考える。
2		自然と人間を考えるゼミ	1～4	全学対象	古屋顯一	「自然の中での人間のあり方」、「自然とは」ということをテーマに自然と人間の営みについて考える。
3		アウトドアの達人	1～4	全学対象	古屋顯一・古澤栄一	自然環境の中で活動しながら、自然に対してローインパクトな関わり方を学習する。
4		産業論特論	2～3	経済学部両学科対象	山沖義和 及び外部講師	東日本大震災に関連した政府の各種施策に関する紹介
5		公共経済学	2～4	経済学部	西村 直子	市場が機能不全あるいは市場が存在しない社会活動に関する政策分析。その一環で、環境をはじめとする公共財および外部性を伴う財に関わる講義内容あり。
6		経済学演習 I・II	2～3	経済学部・経済学科	西村 直子	公共財供給に関する実験研究をテーマとした。
7		憲法	2	経済システム法学科	赤川 理	授業の中で、新しい人権の一つとしての環境権の可能性に触れた。また、環境権を生存権によって基礎づける可能性にも触れた。
8		日本の社会と日本語 I	1	経済学部	川上尚恵	日本の社会に関するトピックの一つとして、「経済と環境」というテーマをとりあげた。日本の環境対策や環境に関連した経済活動について理解する。
9		国際政治	2～4	経済学部(他学部履修可、市民開放授業)	美甘信吾	講義の一部として、グローバルイシューとしての環境問題と国際社会の取り組みについての授業を行った
10		新入生ゼミナールI	1	経済学部経済システム法学科	都築・美甘・丸橋・富永	基本的な文献・判例等の調査、読解、発表、議論について、それぞれを実際に行うことを通じて学ぶ

11	法曹法務研究科	民法5(事務管理・不当利得・不法行為)	1	大学院法曹法務研究科	角田光隆	不法行為の領域で大気・水質・土壌・騒音(振動)・悪臭・人の健康に関連する判例を採り上げて、過失の捉え方、人格権や環境権の意義、損害賠償や差止請求の意義などを講義した。
12		法の創造と時代思潮	1・2・3	法曹法務研究科 法曹法務専攻	後藤 泰一	①「不法行為の成否と過失の意味」に関する授業では、大阪アルカリ株式会社事件を取り上げ、②「無過失責任論の登場と無過失責任立法」の授業では、4大公害訴訟や大気汚染防止法・水質汚濁防止法などを取り上げながら公害の観点から環境問題を考えた。
13		法と経済		法科大学院	広瀬 純夫	法と経済学の講義の中で、ゲーム理論の考え方をを用いて、協調の失敗による環境破壊の可能性について解説した。
14	理学部	キャンパスライフと健康	1	全学	北	オムニバスで2回担当・温暖化の現状の説明
15		自然環境診断マイスターによる自然環境保全の実践	1	全学	佐藤利幸	ガイダンスと10回コメント・レポート試験
16		進化多様性生物学	2	生物科学科	市野隆雄	授業の一部として、生態系や生物種の保全と人間活動との対立およびその解消などについてディベートを行なう。
17		マクロ生物学	1	生物科学科	藤山静雄	各種の廃棄物が地球生物化学的に地球環境を汚染すること、各自の日々の行動が環境に影響するので、日々の生活を環境マインドの視点からチェックする必要であることを説明した。
18		環境科学入門	1	全学部対象	朴 虎東	15回の授業のうち2回で、放射能汚染の問題(チェルノブイリ原子力発電所事故や福島原発事故を含む)を取り上げた。
19		物理化学II	2	理学部化学科	飯山 拓	熱力学に関する基礎的講義の中で、温室効果ガスである二酸化炭素やメタンの性質について触れた。
20		物理化学III	3	理学部化学科	飯山 拓	物理化学に関する基礎的講義の中で、フロンガスがなぜ利用されたか、オゾン層破壊など、どんな問題を生じたかについて触れた。
21		物理化学実験	3	理学部化学科	飯山 拓、浜崎亜富、尾関寿美男	実験試薬、廃液の取り扱いについて学んだ。

22	理学部	環境基礎理論	2	物質循環学科	島野光司	地球の成り立ちから人類の身の回りに至る環境科学について、基礎的な専門知識を授ける。
23		環境問題のしくみ	1	全学部対象	戸田任重	15回の授業のうち1回で、放射能汚染の問題(福島原発事故を含む)を取り上げた。
24		生物地球化学	3	物質循環学科	國頭	地球規模での炭素循環や、酸性降水の生態系への影響などの環境問題についても扱っている。
25		環境保全論	2	理 物質循環	福島	環境保全に関わって、過去の公害問題・環境問題の紹介から、国内法の整備、アセスの仕組、国際的な会議・条約・協定を通じた合意形成の経緯。現状と考え方の紹介、環境ISOの解説
26		地学概論Ⅱ	1	全学教育	福島	地学概論の中で、いわゆる環境地学という項を設け、災害とともに環境問題を取り上げている
27		自然災害と環境	1	共通教育	村越	人間の生活の場となっている平地は河川や海洋によって直接的な影響を受ける場所である。地球が温暖化する中で、川や海で起こる現象やしくみをよく理解し、将来予測や対策に役立てる必要がある。
28		地球環境史学	2	物質循環学科	公文富士夫	第四紀の気候変動と関連づけてIPCC AR4レポートを紹介した。
29		NHKビデオで学ぶ地球環境の歴史	1	全学教育機構	森清	「地球大紀行」のビデオを毎回上映し、地球環境の歴史を、映像によってわかりやすく説明している。
30		地球化学実験	3	地質科学科	森清	岩石などの地質試料や天然水など地学試料の化学分析法を実習により習得させている。
31		全学教育機構	化学実験	2	医学部医学科	村上好成 勝木明夫
32	化学実験		1	理学部	石川 厚 大木 寛	種々の金属イオンの定性分析を行った。

33		化学実験	1	理学部	庄子 卓 他	種々の金属イオンの定性分析を行った。
34		化学実験	2	医学部医学科	勝木明夫	種々の金属イオンの定性分析および定量分析を行った。
35		化学実験ゼミ	1	全学部	勝木明夫	勝木実験室, 化学実験室, 測定室において簡単な実験を行った。
36		地学実験	1	理・工・織・農	大塚 勉	地学実験安全教育において、薬品管理について解説した。
37		環境社会学入門	1	全学教育機構	金沢謙太郎	本講では、環境社会学の理論的思考や実践的研究方法を学んだ上で、環境問題に対する自分なりの考察や批判ができることを目標とします。
38	全学教育機構	熱帯雨林と社会	1	全学教育機構	金沢謙太郎	熱帯産の食料や資源などを事例に、それらの大量移動に伴う影の問題や現地社会と私たちが抱える現代的課題について考えます。
39		生態資源論ゼミ	1	全学教育機構	金沢謙太郎	生態資源とは、人とともに存在し生きてきた資源を指します。県内の生態資源を事例とし、それらの利用と管理の歴史と現状、展望を探ります。
40		アジア環境白書ゼミ	1	全学教育機構	金沢謙太郎	アジアの各国や地域が直面している問題群を英語文献で学びます。問題の背景や構造を理解しながら、基本的な英語表現を身につけます。
41		環境マインドを現場で体験するゼミ	1	全学教育機構	金沢謙太郎	水生生物による環境調査、NPOの環境保全活動などの見学実習を通じて、信州の地域環境への理解を深め、社会貢献のあり方を議論します。
42		健康科学・理論と実践(実践)	1	全	速水達也	体力向上および健康の維持増進に対する具体的方法を実践した。具体的には、ウォーキング、ジョギング、種々のエクササイズであった。
43		ニュースポーツ	1	全	速水達也	生涯スポーツと実践できるニュースポーツを5種目行った。各ニュースポーツが考案された歴史的背景、ルールについて学び、実際にゲームを行った。種々のコミュニティへ参加する際の有益な手段であることへの理解を深めた。

44	全学教育機構	身体運動科学ゼミ	全	全	速水達也	スポーツ動作, トレーニング方法, 哲学的価値観について演習形式の授業を展開した。学生の調査結果に基づいた討論を行うことで, 各人の理解を深めた。
45		生活のなかの天文学	全	全	三澤 透	天文学を学際的に幅広く扱う講義。環境については, スペースデブリについてわずかに触れた程度。
46		化学実験	2	医学部医学科	村上好成	陽イオンの定性分析と定量分析を実験として行なった。化学物質の安全な取り扱い方と廃溶媒処理などの安全教育も行なった。
47		スポーツ実践演習「トレッキング1」	1年次生	共通教育	折口 築	上高地, 白馬, 乗鞍高原等をトレッキングする中で, マイカー規制, 山小屋の汚水処理, 河川の汚濁, 高山植物の植生等, 自然保護の観点から講義している。
48		日本事情(社会と環境)	1	全学留学生	村田 明	テレビ番組で特集された, 公害(水俣病), アスベスト問題, 地球温暖化による環境事例などをまとめた教材を使って, 留学生に日本の現実を理解させる。
49		統計図解ゼミ	1	全学生	鈴木治郎	授業の題材として電力の適切な量的扱いをとりあげ, それについて演習をした。
50		ライフサイクルアセスメント入門	1	全学科	小林充	製品の資源消費量や環境への排出物量および環境影響の評価方法について講述し, 演習を通じてその方法を修得する。
51		環境と生活とのかかわり	1	全学科	小林充	生活に関わる製品・サービスの環境とのかかわりについて講述する。
52		キャンパスライフと健康(地球環境と健康)	1	医学部保健学科 理学部(数・物・生)	小林充	地球温暖化などによる人間への健康被害をDALYの単位で定量化する。
53		自然環境と文化	全	共通教育	分藤大翼	人類学的な観点から地球環境における人類の活動をとらえ, 自然環境と文化の関わりの可能性と課題について解説している。
54	生物科学II	1年	教育(教育カウンセリング), 医(医学), 農(食料・応生)	今津道夫	7回の授業で生態学の講義を行い, その中で生物と環境との関わり, 生態系の機能と構造, 地球環境問題について講義した。	

55	医学部	環境医学概論	3	医学科	野見山哲生	環境要因とヒトの健康について、ヒトに影響を与える外部環境について授業を行った
56		環境医学の実際	3	医学科	野見山哲生	物理学的環境要因及び環境要因と健康影響、地球温暖化について授業を行った
57		地球環境と健康	1	1年生	塚原照臣	地球温暖化を例に人の健康と温暖化について授業を行った。
58		実験動物学	3	医学部・保健学科・臨床検査医学	松本清司	日常生活における化学物質の安全性確保について、医薬品、食品、農薬などを例にその安全性確保の現状と問題点を考える
59	内部部局	健康科学・理論と実践	1	全員	川 茂幸 ほか	大学教育における基礎的な能力として、大学生活を健全に送り、かつ生涯にわたって健康を維持増進するための健康科学の知識と実践方法の習得を目的とする。